

# 見付地区体育部

加盟チーム数  
加盟人数  
代表者 林 浩巳  
創立年

見付地区体育部（体育振興部）は、見付交流センター（平成27年3月まで見付公民館）の発足以来、見付地区26自治会推薦により組織されている2専門部の1つであり、平成30年4月からスタートした見付地区地域づくり協議会の地区交流部会に所属している組織である。

見付地区は、市立の小学校2校・中学校1校を有し、約8,000世帯の体力づくりと地区のスポーツ活動振興及びコミュニティづくりを図るべく、見付地区体育祭・グラウンドゴルフ大会・卓球大会が実施されており、今年で35回目を迎え歴史の重みを感じさせる。

## ①見付地区体育祭

毎年10月に見付地区26自治会の就学前の幼児からお年よりまで幅広い年齢層の人約1,000人が参加しての、自治会対抗の体育祭である。

35年の歴史を重ねるうちに幾多の変遷を経て現在は、玉入れ・順送球・大玉ころがし（今年から長縄跳びから変更）の三種目で競っている。

特別種目として、小学生以下250人を対象にしたパン食い競争も行われている。

体育振興部員が運営・進行し、城山中学生25人がボランティアとして参加して、地域の住民とのふれあいの場となっている。



平成29年度 見付地区体育祭

体育振興部員が運営上最も留意している点は、26自治会が一同に会する場合は、体育祭のみであり、勝敗よりも互いの情報交換と親睦を深め理解し合う場の提供である。

## ②グラウンドゴルフ大会

毎年6月に個人戦のグラウンドゴルフ大会を磐田北小学校のグラウンドで実施しており、住民の体力向上と親睦に寄与している。

参加者は、60代～90代が主で、高齢化社会を実感させられるが、底辺を広める努力をして愛好家の増加を期待している。



平成30年度 グラウンドゴルフ大会

## ③卓球大会

水谷隼選手・伊藤美誠選手のゆかりの地である見付地区は、卓球熱も高く、9年前から卓球大会が開催されている。大会は、男女混合ダブルスで20チーム40人が集い、予選リーグ戦の後、決勝戦では、1位～4位トーナメント戦に分かれて順位を決定している。

今後も卓球の普及と卓球愛好家の親睦を深める場として開催していく。

## ④その他

現在、見付交流センターを基点として活動しているスポーツ団体は、43団体ありスポーツが広域化する中、地域の活性化のためのスポーツ又は趣味の多様化と高齢化社会を迎え、それに対応できるニュースポーツの普及を今後考えていきたい。